

令和 3 年 11 月 24 日

西東京市教育部公民館
館長 高田 敦子 殿

西東京市公民館運営審議会
会長 西原 みどり

令和 2 年度西東京市公民館事業評価（二次評価）付帯意見

令和 2 年度西東京市公民館事業評価の二次評価について、公民館運営審議会での議論を行う過程において、各委員から出された付帯意見を下記のとおり示します。

記

- 1 様々なパンデミックが想定されるなか、市民の学習を保障するために、この度のコロナ禍での公民館の対応をまとめておく必要があるのではないか。
- 2 コロナ禍に限らず、学習機会の保障の視点からも今後はオンラインでの対応が求められる。新しい時代に対応した新しい学習形態を考えていく必要と共に、ICT 化に対応した環境整備が必要である。
- 3 社会教育全体の充実のためにも、職員の人員配置のさらなる充実を望みたい。
- 4 夜間、土日の公民館の「安全」についても、利用者とともに考えていく必要がある。
- 5 公民館を含めた社会教育全体を考えていくためにも、社会教育委員との合同の会議の開催を求めたい。

以上